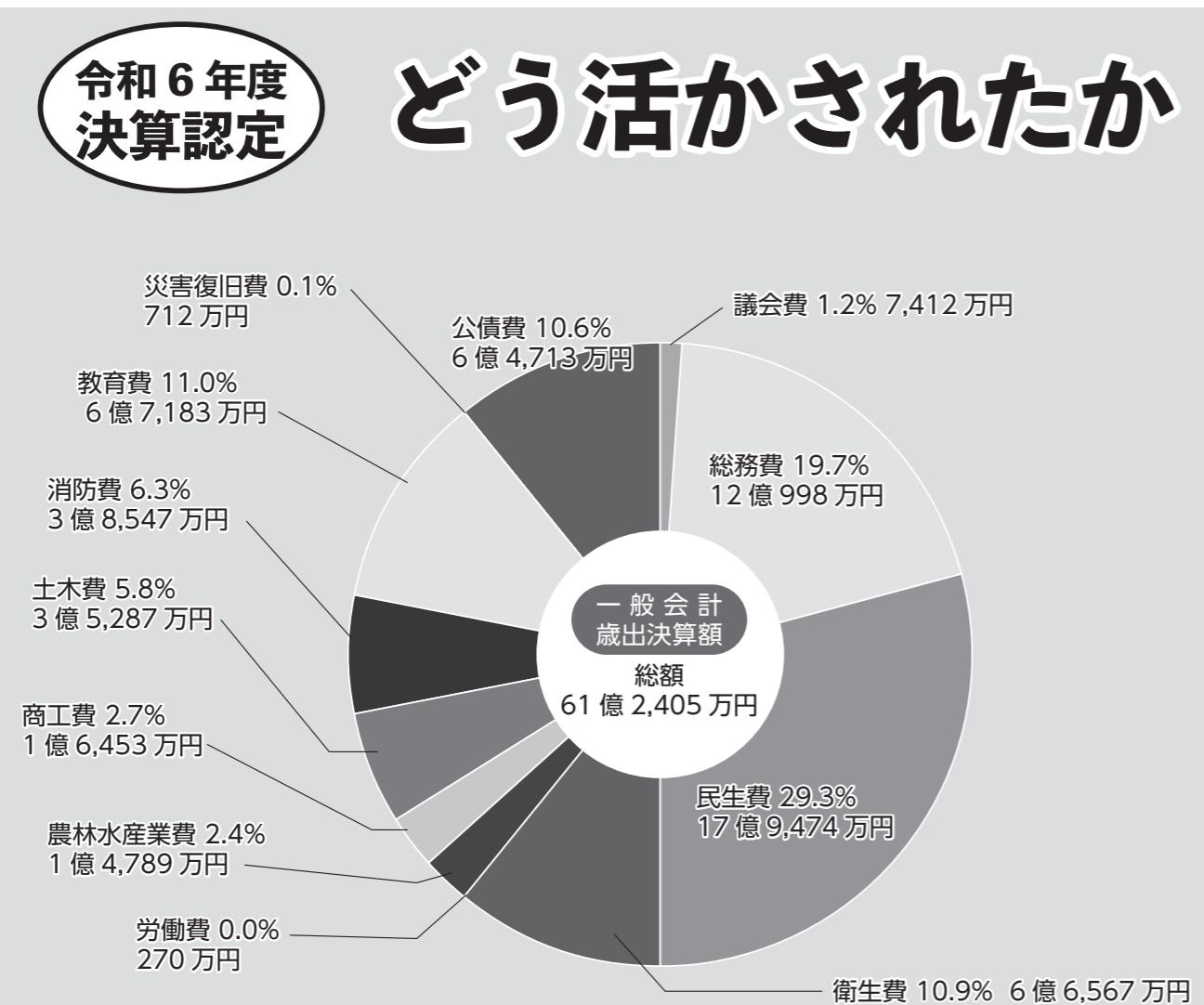
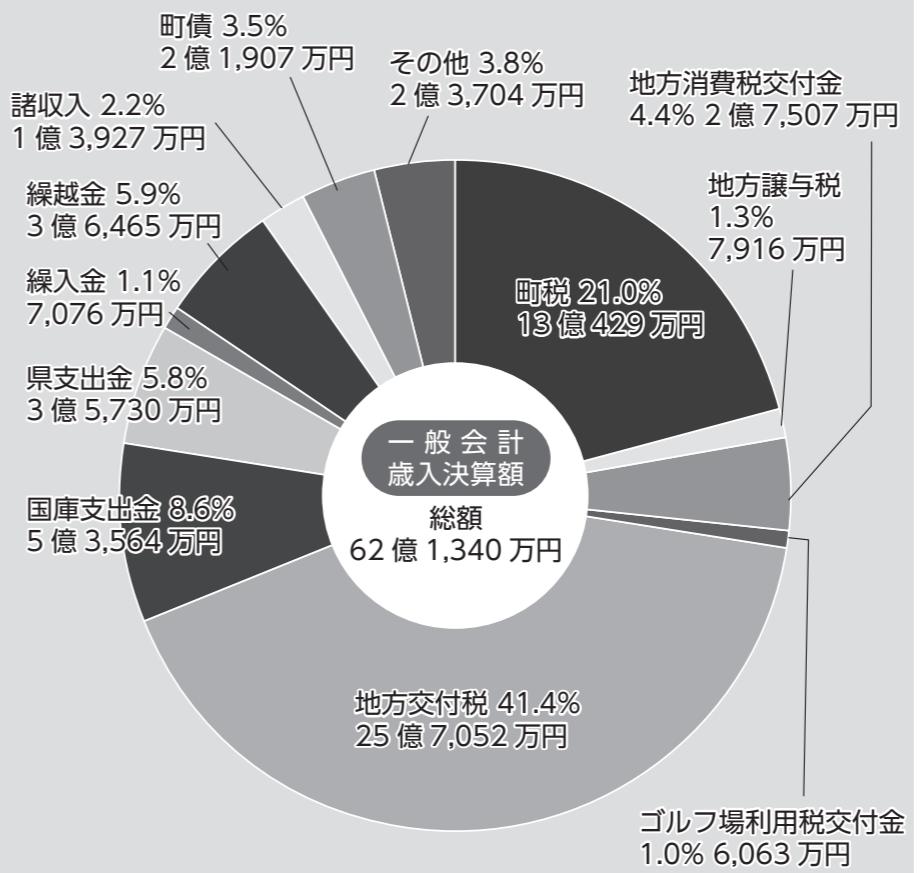


令和6年度
決算認定

どう活かされたか



私たちのお金



令和7年
第3回定例会

9月2日～9月12日

9月定例会では、令和6年度決算等に係る報告2件と認定5件、町長提出議案13件、同意1件を審議し、すべて原案のとおり認定、可決承認されました。

なお、一般質問には10名が登壇し、活発な議論が展開されました。

令和6年度 各会計歳入歳出決算認定等を特別委員会へ付託

特別委員会とは、議会の議決によって付託された議案等の審査を行う委員会です。

決算特別委員会は、決算が議会に提出される9月定例会において上程された決算案について、その認定審査のために設置される委員会です。委員会は、議長、議会選出監査委員を除く9名で構成され、委員長に畠豊議員、副委員長に野原和夫議員が選出され審査を行いました。

問 個人住民税について、約2,600万円のマイナスとなっているが、その要因は。

歳入の主な質疑

問 ストレスチェック業務委託について、実施対象者の基準、人数、結果及び高ストレスと判断された者への対処は。

歳出の主な質疑

答 定額減税が大きな要因である。

問 軽自動車税について、納税者の死亡や廃車手続きをしないで長年放置されていた車両を調査した結果、生活困窮者については不納欠損とした。

問 財政運営計画について、今年度策定するのか。

答 今年度策定予定である。



◆政策財政課

問 交通指導員の人数、業務内容及び採用基準は。答 現在、10名の交通指導員が、地元のまつり、流鏑馬の警備及び登校時の交通指導業務等を行っている。採用については、交通指導員の設置及び運営に関する規則に基づき委嘱している。

問 若者定住化補助金の支給件数及び金額は。

問 交通指導員の人数、業務内容及び採用基準は。答 現在、10名の交通指導員が、地元のまつり、流鏑馬の警備及び登校時の交通指導業務等を行っている。採用については、交通指導員の設置及び運営に関する規則に基づき委嘱している。

問 個人住民税について、約2,600万円のマイナスとなっているが、その要因は。

問 基金の運用について、昨今の物価高騰を考えると基金はあまり貯めず町民に還元するべきではないか。基金はそれぞれ目的を達成したいと考えている。町の予算規模を考えると残高は多くないと考えているが、必要なときには基金の有効活用も考えていいたい。

問 基金は、公共施設等総合管理基金は、公共施設の老朽化に備えてもう少し積み増したいと考えている。財政調整基金は、10億円程度を維持し、公共施設等総合管理基金は、公共施設の老朽化に備えてもう少し積み増したいと考えている。町の予算規模を考えると残高は多くないと考えているが、必要なときには基金の有効活用も考えていいたい。